

## 特集——第1部リーマン破綻9.15の衝撃(3)「対岸」の欧州瞬時に炎上(大収縮)

2009/04/19 日本経済新聞 朝刊 4ページ 2116文字

「対岸」の欧州、瞬時に炎上

金融保護、域内が一斉に 中東欧に信用不安波及

海の向こうの話。そんな楽観論は通じなかった。リーマンショックは瞬時に大西洋を越えて欧州に飛び火した。戦後の市場統合。ベルリンの壁崩壊。単一通貨ユーロの誕生と躍進。成功体験に酔ってきた欧州に危機の波が襲い、足並みの乱れを容赦なく突いた。=肩書は当時、敬称略  
ドル金利急上昇

二〇〇八年九月十五日の米リーマン・ブラザーズ破綻翌日の十六日、ロンドンの金融街シティは緊迫した空気に包まれた。

短期金利の代表指標、ロンドン銀行間取引金利(LIBOR)は定刻に表示されず、正午近くに出てきた翌日物ドル金利は年六・四四%と前週末の三倍に。銀行間の直接取引で一〇%に跳ねる場面もあった。ドル資金の流れがとまり、市場は一夜にして凍り付いた。

国際金融都市ロンドン。プレーヤーの顔ぶれはウォール街と同じ。しかも、リスクをとった運用部隊は規制の緩いロンドンに置かれた。金融危機が欧州に波及するのは必然だった。

英首相ゴードン・ブラウンが十五日夜、友人のロイズTSB会長、ビクター・ブランクに会い、住宅金融大手HBS救済を打診したと英メディアは伝えていた。株急落に見舞われたHBSは十七日に「合併交渉中」と公表。英政府も「独禁法適用を除外する」と異例の声明で支援した。

十八日朝、欧州市場が開く前に日米欧の中央銀行はドル資金供給策を同時発表した。欧州中央銀行(ECB)が日銀に「非常事態」と連絡したのは、ほぼ二十四時間前。急ごしらえの連携策だった。

独仏など大陸勢には、違う空気が流れていた。

リーマン破綻から十日後の二十五日。独財務相のペール・シュタインブリュックは議会で「米国は世界金融システムの超大国の地位を失った」と演説、喝采を浴びた。仏大統領のニコラ・サルコジは「市場が常に正しいなんて狂った考えだ」と語った。

金融が主導する米英型経済モデルに強い疑念を抱き、金融規制強化を主張してきた独仏。リーマンショックはその正当性を証明したかのようだった。米英批判に勢いづく姿を、英メディアは「シャーデンフロイデ」(独語で「他人の不幸を喜ぶ」と皮肉った。

だが、危機の波は瞬く間に欧州全体をのみ込む。

銀行、国境で分断

二十六日、オランダ・ベルギー系フォルティスが資金繰りに詰まった。「破綻しない」と会見したトップが数時間後に辞任。オランダ、ベルギー、ルクセンブルクのベネルクス三カ国は週末協議し、二十八日深夜、各国の銀行部門の株式をそれぞれ買い取る事実上の分割国有化を打ち出した。

前年にオランダ系ABNアムロを英銀などと共同買収して巨大化した大銀行の“破綻”は衝撃だった。フォルティスは欧州共通市場の恩恵を生かすため、域内国境を越えて前線を拡大した欧州金融モデルの典型だった。ところが、危機に直面すると「銀行を国境で分割するしか知恵がない」(ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス教授のウィレム・ビューター)というもろさが露呈した。

動揺は意外な形で広がる。

アイルランド政府が三十日「国内六銀行の預金を二年間、全額保護する」と表明したのをきっかけに、隣国の英国から預金が出出したのだ。十月三日付の英フィナンシャル・タイムズは「数万人が英国の口座から預金を移した」と書いた。

銀行の経営不安にどう対処するか、英、独、仏、イタリアの四カ国首脳は四日、パリで緊急会議を開く。だが、救済基金の共同設立構想はあっけなく流れ、「措置は各国の裁量」にゆだねられた。翌日、独、デンマーク、スウェーデンが預金保護策を発表。英政府も大手銀と資本注入の協議に入った。

一国が保護に動けば近隣国も動くしかない。預金・銀行債務の保証、資本注入——。欧州連合(EU)諸国の国丸抱えの金融保護への変わり身は早かった。

GDPの9倍

国家の信用が揺らぎ始めた。人口三十万人の島国で、金融立国に成長をかけたアイスランド。九月半ばから一カ月足らずで上位三行を国有化した。政府に支える力はなかった。海外から巨額の投資マネーを集めた銀行の資産は国内総生産(GDP)の九倍近くに膨らんでいた。

十月二十四日、最大手銀カウプシングの円建て外債(サムライ債)が債務不履行となる。国際通貨基金(IMF)はアイスランド政府への緊急融資を決めた。

国内経済が成熟した西欧勢がフロンティアを求めて投融资を積極化した中・東欧にも、深刻な信用不安が及んだ。傷ついた欧米先進国の銀行やファンドが資金を引き揚げ、金融収縮や通貨安に見舞われたからだ。中・東欧では、多くの個人が外貨建てでお金を借り、住宅や自動車を購入した。自国通貨高と資産価格の上昇で借金はすぐに帳消しになった。だが、逆回転が始まると、痛みは倍加する。

経済の悪化は政治の混乱に直結する。ラトビア、ハンガリーやチェコでは、経済危機に不満を持つ市民が政権交代に追い込んだ。新興各国はIMFやEUからの金融支援で合意したが、実行条件を巡ってなお神経戦を繰り広げている。

【図・写真】救済基金の共同創設構想はあっさり流れた(昨年10月にパリで開いた欧州主要4カ国首脳会議) =ロイター

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報(以下「情報」)の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.